

平成27年度北陸地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会の議事概要について

日 時 平成28年2月16日(火) 14:00～16:00

場 所 北陸地方整備局 4階共用会議室

出席委員

| | | |
|-------|-------|--------------|
| 委員長 | 伊津 良治 | 弁護士 |
| 委員長代理 | 馬場 健 | 新潟大学法学部 教授 |
| 委員 | 雨宮 洋美 | 富山大学経済学部 准教授 |
| 委員 | 平 哲也 | 弁護士 |
| 委員 | 山崎 真 | 公認会計士 |

議事概要

1. 議 事

- 1) 平成27年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画の取組状況について
- 2) 平成28年度北陸地方整備局コンプライアンス推進計画(案)について

2. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修、講義等の際に、最近の具体事例を用いて分析検討するやり方もある。ことの顛末、懲戒処分後の生活を具体的に引き上げ、マナー防止ややらされ感がでない工夫をした方がいい。・ 受講率100%について、90%の目標設定や、単年度ベースではない設定もあるのでは。目標に対する達成率が重要。・ 理解度調査について、特に正解率の低い部分は立法主旨や背景を解説するといい。 | <ul style="list-style-type: none">・ 身近な具体的事例を使っての研修等、やり方について参考にさせていただく。・ 出張や休暇で受講できなかった残り数%の職員は、資料配付や個別説明等でフォローしているが、計画目標としては100%としたい。・ 研修等の機会に、立法主旨を踏まえて説明していきたい。 |

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 取組の中で評判の良いものはどれか。 ・ コンプライアンス・ミーティングの司会を役職者以外にするやり方もある。 ・ 「事業者との応接ルール」について職員や業者からの反応は。 ・ 不正行為が発生しないように、コンプライアンスに関する啓蒙や組織で取り組む体制は、予防的な内部統制として大事である。一方で、内部で不正を見つける、監視する仕組み、発見的統制として監査がある。予防的な統制をやり過ぎて運営に支障や疲弊がでないよう全体のバランスが大事。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度アンケート結果では、コンプライアンス・ミーティングが一番評判がよかったが、工夫が必要な取組もコンプライアンス・ミーティングだった。 事務所からの報告では、事例を参考にして議論をすることは良かったと聞いている。 テーマ・事例の設定等については、本局が一括して行えば効率化できる面があるが、各事務所が自ら作ることの利点もある。 ・ 職員、業者とも定着し、当然のように捉えていると思っている。 |